

周産期医療協議会・妊産婦メンタルケア部会
令和7年度事業実施結果及び令和8年度事業計画（案）

1 令和7年度事業実施結果

（1）妊産婦メンタルケア部会の開催

○日時 令和7年11月25日（火） Zoom

○内容 （1）メンタルケアを必要とする妊産婦への対応・分析について
（2）その他

（2）妊産婦メンタルケア対策-早期発見と支援のポイント-の改訂・送付

【主な改正点】

- ・Ⅱ 産後スクリーニングについての記載（P. 2）
（産後2週間、1か月健診時に産婦健康診査票に記載のエジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）を使用し、支援が必要と判断した場合は、市町村等へ情報提供する旨の記載）
 - ・産婦健康診査フローチャートの挿入（P. 10）
 - ・母子保健担当窓口一覧の更新（P. 25）
- 令和7年8月改定版を産科・小児科・精神科医療機関、助産所、市町村、保健所等へ送付。

（3）妊産婦のメンタル支援にかかる研修会の開催

○日時 令和8年3月10日（火）午後6時から午後7時まで （Zoom）

○参加者 計106機関

産婦人科、小児科、精神科医療機関医師、助産師、看護師、市町村、保健所保健師等

○内容 講演「徳島大学病院精神科神経科における周産期メンタルヘルス診療」

講師 徳島大学病院 精神科神経科 准教授 中瀧 理仁 氏

- ・妊産婦の自殺の現状
- ・徳島大学病院での産後うつ対策の体制及び周産期メンタルヘルス診療について
- ・徳島県の妊産婦メンタルケア対策-早期発見と支援のポイント-（ガイドライン）の紹介

○参加者アンケート回答結果 回答者 54 名 （回収率：50.9%）

【理解度】 非常に理解しやすかった（4・5の合計）：90.7%

【業務に役立つか】 非常に役立つ内容だった（4・5の合計）：88.9%

【研修会の感想（抜粋）】

- ・非常にわかりやすく、理解が深まった
- ・普段自分たちが行っているケアの重要性を再確認できた
- ・連携についてよく理解できた
- ・今後の対応において非常に参考になった

【今後取り上げてほしいテーマ】

- ・事例検討や連携の具体例等、ケースを通じて学ぶ機会がほしい。
- ・具体的な妊産婦の症状の見方や対応を掘り下げて学びたい。
- ・グループワーク等にて、他の方がどのように対応しているかを学びたい。等

2 令和8年度事業実施計画（案）について

（1）妊産婦メンタルケア部会の開催

開催回数：年1～2回程度

【課題】

- ・妊産婦のメンタルケアに関する現状や課題の把握と関係機関の支援状況についての共有
- ・ガイドライン活用による関係機関の連携強化

【取組】

1) 妊産婦のメンタルケアに関する情報共有、地域における連携体制の整備

- ・部会の開催により、関係機関の支援状況やその後の経過等について分析を行い、共有することで、切れ目のないケアの評価と強化につなげる。

2) 「妊産婦メンタルケア対策-早期発見と支援のポイント-」及び

「妊産婦の受診受入れにかかる精神科医療機関リスト」の周知、活用について

- ・ガイドラインについて、引き続き活用方法を含めた周知・啓発を行う。

3) 関係者資質向上対策及び関係機関との連携推進

- ・研修会の開催等による妊産婦へのメンタルケアに関する啓発の継続。